

## 11. 紫金山（しきんざん）古墳

紫金山古墳は大阪府茨木市にあるの。亡くなった人のそばには、鏡や緑色の石でできた腕輪（うでわ）が置かれていました。

見つかった鏡には、三角縁神獸鏡（さんかくぶちしんじゅうきょう）と呼ばれる鏡がたくさんあったの。鏡の縁が横からみたら三角形になっているから、三角縁。よく見ると神様と神様に仕える獣が交互に並んで描かれているわ。だから三角縁神獸鏡という名前なの。この鏡は卑弥呼が中国からもらったものという説もあります。

このほか、紫金山古墳からは沖縄などの南の暖かい海でとれる貝でつくった腕輪と、これをまねて緑色の石でつくった腕輪も出土しています。